

The National Center Test 2013

特色ある大学入試のために  
— 平成25年度 大学入試センター試験 —

# 大学がそれぞれによりよい入試を実現できるよう、 大学入試センターはその期待にこたえます

## 1

### 大学入試センター試験に参加することのメリット

高等学校等新規卒業者数が年々減少している中で大学入試センター試験の志願者数は増加しています。なかでも現役志願率が増加し続けています。そして、大学入試センター試験参加大学・短期大学数も年々増加しています。大学入試センター試験に参加することにより、新しい層の学生の開拓や、全国へのアピール、さらに面接などに重点を置くことができるなど、様々なメリットがあります。

#### 大学入試センター試験参加大学の声

- 大学入試センター試験を利用することで、全科目に平均的な学力を有するオールラウンド型の学生が受験するなど、従来とは異なる層の学生を開拓することができた。
- 大学入試センター試験を利用することで、今まで実施が難しかった小論文や面接を導入する余裕ができた。
- 受験者が全国的に広がり、受験者数が増加した。
- 大学のPRに役立ち、イメージアップが図れた。
- 大学独自の試験のみで選抜を行うよりも、広範囲の教科・科目から選択することで広い視野から受験者の適性の評価が行えるようになった。
- 同一大学・学部の受験チャンスが1回増えたことが受験者に好評であった。
- 大学入試センター試験は問題の難易度が安定しているため、受験者の学力を客観的に位置づけることができる。
- 大学入試センター試験のみを課す入試区分では、国公立大学の個別学力検査(前期日程)まで待たずに合否がわかるため、受験者からの評判が良い。
- 大学入試センター試験の取扱いについては、基準点に達するかどうかの判定のみとしているため、入学志願者は大学入試センター試験の結果を気にせず個別学力検査の受験に集中してもらうことができるようになった。
- 推薦入試、アドミッション・オフィス入試で大学入試センター試験を活用することで試験実施に係る人的負担が減るとともに、これらの入試で入学した特色ある学生が他の学生の刺激になっている。
- 国公立大学を志願する者にも併願してもらえるようにするため大学入試センター試験に参加している。

## 2

### 大学入試センター試験参加大学における参加方法の事例

- 基礎的な学力を幅広く評価するため、出題教科・科目を総合的に活用している。
- 一般入試の定員の一部について、大学入試センター試験の特定の教科・科目を課している。
- 教科・科目に幅を持たせ、受験者が得意なものを選択させている。
- 調査書と大学入試センター試験で第一次の選抜を行い、その合格者について面接試験を実施している。
- 入学定員の一部について、大学入試センター試験と個別学力検査のうち、高得点の方を合否の判定に使用している。
- 推薦入試について、大学入試センター試験の国語・外国語のみを用い、大学において面接を実施している。
- 大学の自主的な判断に基づき、過年度の大学入試センター試験の成績を当該年度の入学者選抜に使用する。
- バランス良く勉強している学生を確保するため、国公立大学と併願しやすい入試形態として大学入試センター試験を利用している。
- 推薦入試において、入学後の学業の参考として大学入試センター試験の成績を利用している。
- 学力が高くてバランスがとれた学生を確保するために、個別学力検査のみで合否判定する入試のほか、大学入試センター試験のみを課す入試、及び大学入試センター試験と個別学力検査を組み合わせて課す入試を行っている。

## 3

### 大学入試センター試験は各大学において利用方法を定めることができます

大学入試センター試験は、各参加大学が学部・学科等別に入学志願者に課す教科・科目を自由に指定して利用することができます。利用方法として、各大学が課す小論文や面接等と大学入試センター試験を組み合わせる方法や、アドミッション・オフィス入試、推薦入試で入学志願者の基礎学力の状況を把握するために利用する方法などがあります。

なお、「平成25年度大学入学者選抜実施要項について(平成24年5月31日24文科高第236号文部科学副大臣通知)」において、アドミッション・オフィス入試による場合、大学教育を受けるために必要な基礎学力の状況を把握するための方法の1つとして、大学入試センター試験の成績を出願要件(出願の目安)や合否判定に用いることに留意するよう明記されています。

## 4

### 適正かつ良質な試験問題を作成しています

大学入試センター試験は大学入学者選抜に利用されるものであることから識別性を保有する必要等があるため、試験問題の作成に当たっては、平均点が6割程度となることを目標としています。

また、問題作成の過程で過去の大学入試センター試験の設問ごとの正答率等のデータを参考として科学的検証を加え、同一教科、あるいは教科を超えた部会間でも調整を重ねて、できるだけ均質の問題を作成するよう努めるとともに、配点にも工夫し、特に同一教科間で得点差が生じないように努力しています。

さらに良質な試験問題とするため、問題を作成する過程であらゆる角度から検討を加えています。具体的には、大学の教員で構成される教科科目第一委員会が出題教科・科目別の部会に分かれ、協議を重ねて問題を作成し、その後、教科科目第二委員会において構成、内容、正解、用字用語、採点方法等について、教科科目第三委員会において形式、表現、重複等について、それぞれ点検・照合を行っています。これに加えて高等学校関係者で構成される点検協力者が難易度・出題範囲について点検しています。

障害のある志願者のための試験問題については、特別問題作成部会が点字試験問題の作成等を行っています。

## 5

### 大学入試センター試験ではリスニングも実施します

リスニングは、外国語「英語」の一領域として実施し、試験時間60分の中で、解答開始前にICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行った後、30分間で音声問題を解答します。解答時間中に、機器の不具合や解答が続行できないような事故等が発生した場合は、監督者の指示で試験を中断し、リスニングの試験終了後に「再開テスト」として、別のICプレーヤーにより中断した設問からテストを再開することとなっています。

なお、リスニングの監督業務への理解を深めるよう、動画でわかりやすく解説した映像資料を各参加大学に提供しています。

## 平成25年度の大学入試センター試験実施日程

期日	日 程	実施内容
平成24年	6月	大学入試センター試験の実施要項を発表
	8月 1日(水)～9月28日(金)	<b>受験特別措置の出願前申請受付</b>
	9月 3日(月)～	<b>大学入試センター試験受験案内を配付</b>
	10月 1日(月)～12日(金)	<b>大学入試センター試験の出願受付</b>
	11月上旬まで	大学入試センター試験志願者に確認はがきを送付
	12月中旬まで	大学入試センター試験志願者に受験票等を送付
平成25年	1月19日(土)・20日(日)	<b>大学入試センター試験【本試験】</b>
	1月23日(水)【予定】	大学入試センター試験の平均点等中間発表
	1月25日(金)【予定】	大学入試センター試験の得点調整実施の有無の発表
	1月26日(土)・27日(日)	<b>大学入試センター試験【追試験】</b>
	2月 7日(木)【予定】	大学入試センター試験の平均点等最終発表
	4月16日(火)以降	大学入試センター試験の成績通知希望者に成績通知書を送付

## 平成25年度の大学入試センター試験出題教科・科目等

期日	教科・グループ(注1)	時間・配点	出題方法等	科目選択の方法等
平成25年1月19日(土)	<b>地理歴史</b> 「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」	<b>2科目受験</b> 9:30～11:40 (うち解答時間120分) (200点)	(注3)	左記出題科目の10科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 ただし、同一名称を含む科目の組合せて2科目を選択することはできない(注4)。 なお、受験する科目数は出願時に申し出ること。
	<b>公民</b> 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理・政治・経済」	<b>1科目受験</b> 10:40～11:40 (100点)		
平成25年1月20日(日)	<b>国語(注2)</b> 「国語」	13:00～14:20 (200点)	「国語総合」「国語表現I」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。
	<b>筆記</b> 「英語」 「ドイツ語」※ 「フランス語」※ 「中国語」※ 「韓国語」※	15:10～16:30 (200点)	「英語」は、「オーラル・コミュニケーションI」と「英語II」に加えて「オーラル・コミュニケーションII」と「英語II」に共通する事項を出題範囲とする。	
平成25年1月20日(日)	<b>外国語(注5)</b> 「英語」 「ドイツ語」※ 「フランス語」※ 「中国語」※ 「韓国語」※	<b>【リスニング】</b> 「英語」のみ 17:10～18:10 (うち解答時間30分) (50点)	(注3)	左記出題科目の6科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 なお、受験する科目数は出願時に申し出ること。
	<b>理科</b> 「理科総合A」「理科総合B」「物理I」「化学I」「生物I」「地学I」	<b>2科目受験</b> 9:30～11:40 (うち解答時間120分) (200点)		
平成25年1月20日(日)	<b>数学①</b> 「数学I」「数学I・数学A」	<b>1科目受験</b> 10:40～11:40 (100点)	「数学I・数学A」は、「数学I」と「数学A」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。
	<b>数学②</b> 「数学II」「数学II・数学B」「工業数理基礎」※ 「簿記・会計」※ 「情報関係基礎」※	13:00～14:00 (100点)	「数学II・数学B」は、「数学II」と「数学B」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学B」の4項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。(数列、ベクトル、統計とコンピュータ、数値計算とコンピュータ) 「簿記・会計」は、「簿記」及び「会計」を総合した出題範囲とし、「会計」については、会計の基礎、貸借対照表、損益計算書、財務諸表の活用の4項目の内容のうち、会計の基礎を出題する。 「情報関係基礎」は、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。	

(注1) 国語、理科及び外国語(「英語」を除く。)は、各教科について1試験時間とし、地理歴史及び公民については、合わせて1試験時間とします。  
数学は、①及び②の出題科目のグループごとに、外国語「英語」は、筆記とリスニングに試験時間を分けます。

(注2) 「国語」の出題分野別の配点は、「近代以降の文章(2問100点)、古典(古文(1問50点)、漢文(1問50点))」とします。

(注3) 地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行いますが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、試験時間は130分となります。

(注4) 「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史A」と「世界史B」、「日本史A」と「日本史B」、「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理・政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理・政治・経済」の組合せを指します。

(注5) 「英語」を選択する受験者は、原則として、筆記とリスニングの双方を解答します。リスニングは、音声問題を用い30分間で解答を行いますが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え、試験時間は60分とします。

#### ◆平成25年度 大学入試センター試験参加大学

平成24年3月31日現在

■は平成25年度新規参加大学 ■は平成25年度新規参加学部がある大学

## ◆平成25年度 大学入試センター試験参加大学

大阪成蹊大学	■ 天理医療大学	徳山大学	保健医療経営大学
大阪総合保育大学	奈良大学	梅光学院大学	
大阪電気通信大学	奈良産業大学	山口学芸大学	
大阪人間科学大学		山口東京理科大学	
大阪保健医療大学		山口福祉文化大学	
大阪薬科大学			
関西大学			
■ 関西医科大学	◆ 和歌山県 [国立] 和歌山大学	◆ 佐賀県 [国立] 佐賀大学	◆ 北海道 [公立] 名寄市立大学短期大学部
関西医療大学	[公立] 和歌山県立医科大学	[私立] 西九州大学	[私立] 東京農業大学短期大学部
関西外国语大学			東京富士大学短期大学部
関西福祉科学大学			東京立正短期大学
近畿大学			日本大学短期大学部
四條畷学園大学	◆ 鳥取県 [国立] 鳥取大学	◆ 長崎県 [国立] 長崎大学	文京学院短期大学
四天王寺大学	[公立] 鳥取環境大学	[公立] 長崎県立大学	札幌国際大学短期大学部
■ 摂南大学			札幌大学女子短期大学部
千里金蘭大学			北翔大学短期大学部
相愛大学	◆ 岛根県 [国立] 島根大学		北海道武蔵女子短期大学
太成学院大学	[公立] 島根県立大学		
帝塚山学院大学			
常磐会学園大学			
■ 梅花女子大学			
羽衣国際大学			
阪南大学			
東大阪大学			
フール学院大学	◆ 岡山県 [国立] 岡山大学	◆ 熊本県 [国立] 熊本大学	◆ 新潟県 [公立] 川崎市立看護短期大学
桃山学院大学	[公立] 岡山県立大学	[私立] 熊本県立大学	[私立] 修文大学短期大学部
			豊橋創造大学短期大学部
◆ 兵庫県 [国立] 神戸大学			名古屋学芸大学短期大学部
兵庫教育大学			名古屋経済大学短期大学部
■ 公立			名古屋女子大学短期大学部
神戸市外国語大学			名古屋短期大学
神戸市看護大学			名古屋文理大学短期大学部
兵庫県立大学			南山大学短期大学部
■ 私立			
大手前大学			
関西看護医療大学			
関西国際大学			
関西福祉大学			
関西学院大学			
近畿医療福祉大学			
近大姫路大学	◆ 広島県 [国立] 九州大学	◆ 宮城県 [公立] 日本赤十字秋田短期大学	◆ 三重県 [公立] 三重短期大学
甲子園大学	[公立] 広島工業大学	[私立] 仙台青葉学院短期大学	[私立] 山陽女子短期大学
甲南大学	福岡教育大学		鈴峯女子短期大学
甲南女子大学			比治山大学短期大学部
神戸海星女子学院大学			広島文化園短期大学
神戸学院大学			安田女子短期大学
神戸芸術工科大学			
神戸国際大学			
神戸夙川学院大学			
神戸松蔭女子学院大学			
神戸女学院大学			
神戸女子大学			
神戸親和女子大学			
神戸常盤大学			
神戸薬科大学			
園田学園女子大学			
姫路獨協大学			
兵庫大学			
兵庫医科大学			
兵庫医療大学			
武庫川女子大学			
流通科学大学			
◆ 奈良県 [国立] 奈良教育大学			
奈良女子大学			
■ 公立			
奈良県立大学			
奈良県立医科大学			
■ 私立			
畿央大学			
帝塚山大学			
天理大学			
◆ 山口県 [国立] 宇部フロンティア大学			
奈良女子大学	[公立] 東亜大学		
■ 私立			

## ◆平成25年度 大学入試センター試験参加短期大学

■は平成25年度新規参加短期大学			
◆ 佐賀県 [国立] 佐賀大学	◆ 北海道 [公立] 名寄市立大学短期大学部	◆ 広島県 [私立] 山陽女子短期大学	◆ 中国短期大学 美作大学短期大学部
[私立] 西九州大学	[私立] 旭川大学短期大学部	[私立] 鈴峯女子短期大学	
	帯広大谷短期大学		
	札幌国際大学短期大学部		
	札幌大学女子短期大学部		
	北翔大学短期大学部		
	北海道武蔵女子短期大学		
◆ 長崎県 [国立] 長崎大学	◆ 長崎県 [公立] 長崎県立大学	◆ 長崎県 [私立] 川崎市立看護短期大学	◆ 広島県 [公立] 山陽女子短期大学
[私立] 徳島大学	[私立] 四国大学	[私立] 鎌倉女子大学短期大学部	[私立] 鈴峯女子短期大学
	徳島文理大学短期大学部		
	鳴門教育大学		
	徳島県立大学		
	活水女子大学		
	長崎ウエスレヤン大学		
	長崎外国语大学		
	長崎国際大学		
	長崎純心大学		
	長崎総合科学大学		
◆ 香川県 [国立] 香川大学	◆ 香川県 [公立] 香川県立保健医療大学	◆ 香川県 [私立] 青森中央短期大学	◆ 滋賀県 [私立] 滋賀短期大学
[公立] 島根大学	[私立] 四国学院大学	[私立] 八戸短期大学	[私立] びわこ学院大学短期大学部
	高松大学		
◆ 岡山県 [国立] 岡山大学	◆ 岡山県 [公立] 岡山県立大学	◆ 岩手県 [公立] 岩手県立大学宮古短期大学部	◆ 徳島県 [私立] 四国大学短期大学部
[私立] 新見公立大学	[私立] 新見公立大学	[私立] 岩手県立大学盛岡短期大学部	[私立] 徳島文理大学短期大学部
◆ 愛媛県 [国立] 愛媛大学	◆ 愛媛県 [公立] 熊本大学	◆ 富山県 [公立] 明倫短期大学	◆ 香川県 [私立] 高松短期大学
[私立] 岡山商科大学	[私立] 岡山理科大学	[私立] 富山短期大学	[私立] 高松短期大学
	川崎医療福祉大学		
	環太平洋大学		
	吉備国際大学		
	倉敷芸術科学大学		
	くらしき作陽大学		
	山陽学園大学		
	就実大学		
	中国学園大学		
	高知工科大学		
	ノートルダム清心女子大学		
	美作大学		
◆ 高知県 [国立] 高知大学	◆ 大分県 [公立] 大分大学	◆ 石川県 [公立] 日本赤十字秋田短期大学	◆ 愛媛県 [私立] 今治明徳短期大学
[公立] 岡山県立大学	[私立] 高知県立大学	[私立] 仙台青葉学院短期大学	[私立] 環太平洋大学短期大学部
◆ 福岡県 [国立] 九州大学	◆ 大分県 [公立] 大分県立看護科学大学	◆ 山形県 [公立] 山形県立米沢女子短期大学	◆ 熊本県 [私立] 聖カタリナ大学短期大学部
[公立] 広島工業大学	[私立] 高知県立看護科学大学	[私立] 小松短期大学	[私立] 松山東雲短期大学
◆ 福岡県 [国立] 福岡教育大学	◆ 大分県 [公立] 日本文理大学	◆ 北陸学院大学短期大学部	◆ 福岡県 [私立] 福岡女子短期大学
[公立] 岩手県立大学	[私立] 別府大学		[私立] 福岡女子短期大学
	立命館アジア太平洋大学		
◆ 福岡県 [国立] 九州工業大学	◆ 宮崎県 [公立] 宮崎大学	◆ 福井県 [公立] 仁愛女子短期大学	◆ 佐賀県 [私立] 佐賀女子短期大学
[公立] 福岡大谷大学	[私立] 宮崎県立看護大学	[私立] 福井医療短期大学	[私立] 西九州大学短期大学部
	福岡県立大学		
◆ 福岡県 [国立] 福岡福山女子大学	◆ 大分県 [公立] 大分県立看護科学大学	◆ 石川県 [公立] 金沢学院短期大学	◆ 熊本県 [私立] 西九州大学短期大学部
[公立] 松山東雲女子大学	[私立] いわき短期大学	[私立] 金沢星稜大学女子短期大学部	[私立] 佐賀女子短期大学
◆ 福岡県 [国立] 尾道市立大学	◆ 大分県 [公立] 日本文理大学	◆ 長野県 [公立] 宇都宮短期大学	◆ 大分県 [私立] 九州女子短期大学
[公立] 県立広島大学	[私立] 別府大学	[私立] 長野県短期大学	[私立] 九州女子短期大学
	立命館アジア太平洋大学		
◆ 福岡県 [国立] 尾道市立大学	◆ 宮崎県 [公立] 宮崎公立大学	◆ 群馬県 [公立] 宇都宮短期大学	◆ 熊本県 [私立] 大手前短期大学
[公立] 北九州市立大学	[私立] 宮崎県立看護大学	[私立] 國學院大學栃木短期大学	[私立] 神戸女子短期大学
◆ 福岡県 [国立] 九州歯科大学	◆ 大分県 [公立] 宮崎公立大学	◆ 群馬県 [公立] 関東短期大学	◆ 熊本県 [私立] 神戸女子短期大学
[公立] 久留米大学	[私立] 九州保健福祉大学	[私立] 群馬医療福祉大学短期大学部	[私立] 尚絅大学短期大学部
◆ 福岡県 [国立] 九州栄養福祉大学	◆ 大分県 [公立] 南九州大学	◆ 岐阜県 [公立] 高崎商科大学短期大学部	◆ 大分県 [私立] 大分県立芸術文化短期大学
[公立] 日本赤十字広島看護大学	[私立] 九州国際大学	[私立] 東京福祉大学短期大学部	[私立] 産業技術短期大学
◆ 福岡県 [国立] 比治山大学	◆ 大分県 [公立] 宮崎国際大学	◆ 新潟県 [公立] 新島学園短期大学	◆ 大分県 [私立] 園田学園女子大学短期大学部
[公立] 広島国際大学	[私立] 九州産業大学	[私立] 郡山女子大学短期大学部	[私立] 姫路日ノ本短期大学
◆ 福岡県 [国立] 広島工業大学	◆ 大分県 [公立] 九州情報大学	◆ 千葉県 [公立] 山梨学院短期大学	◆ 大分県 [私立] 武庫川女子大学短期大学部
[公立] 広島工芸大学	[私立] 九州栄養福祉大学	[私立] 聖徳大学短期大学部	[私立] ブルーワーク学院短期大学部
◆ 福岡県 [国立] 広島歯科大学	◆ 大分県 [公立] 九州保健福祉大学	◆ 鹿児島県 [公立] 伊豆の国短期大学	◆ 佐賀県 [私立] 佐賀女子短期大学
[公立] 久留米大学	[私立] 南九州大学	[私立] 岩手県立大学短期大学部	[私立] 西九州大学短期大学部
◆ 福岡県 [国立] 産業医科大学	◆ 大分県 [公立] 宮崎産業大学	◆ 群馬県 [公立] 清泉女子大学短期大学	◆ 熊本県 [私立] 大手前短期大学
[公立] 純真学園大学	[私立] 純真学園大学	[私立] 松本大学短期大学部	[私立] 神戸女子短期大学
◆ 福岡県 [国立] 西南学院大学	◆ 大分県 [公立] 西南学院大学	◆ 群馬県 [公立] 関東短期大学	◆ 熊本県 [私立] 神戸女子短期大学
[公立] 西南学院大学	[私立] 西南学院大学	[私立] 群馬医療福祉大学短期大学部	[私立] 尚絅大学短期大学部
◆ 福岡県 [国立] 聖マリア学院大学	◆ 大分県 [公立] 聖マリア学院大学	◆ 岐阜県 [公立] 高崎商科大学短期大学部	◆ 大分県 [私立] 産業技術短期大学
[公立] 第一薬科大学	[私立] 第一薬科大学	[私立] 東京福祉大学短期大学部	[私立] 園田学園女子大学短期大学部

## 平成24年度 大学入試センター試験の実施状況

① 実施日	平成24年1月14日(土)・15日(日)(追・再試験は1月21日・22日)
② 高等学校卒業予定者	1,058,850人(「学校基本調査」から推計)
③ 志願者数	555,537人
卒業見込者	439,713人(卒業予定者数に対する現役志願率 41.5%)
卒業者等	115,824人
④ 受験者数	526,311人(志願者数に対する受験率 94.74%)
⑤ 利用大学数	674大学・161短期大学(詳細は12ページを参照)
⑥ 試験場・試験室数	709試験場(うち点字試験場8) 9,843試験室

### ⑦ 教科別受験者数(追・再試験含む)

区分	国語	地理歴史	公民	数学①
受験者数	502,694人	373,351人	242,363人	392,160人
区分	数学②	理科	外国語(筆記)	外国語(リスニング)
受験者数	358,525人	382,629人	520,859人	514,921人

### ⑧ 教科・科目別受験者数

	8科目	7科目	6科目	5科目	4科目	3科目	2科目	1科目	合計
受 験 教 科 数	6教科	51,373	80,032	5,208	—	—	—	—	136,613
	5教科	4,838	178,084	8,578	10,096	—	—	—	201,596
	4教科	—	4	6,047	11,418	25,617	—	—	43,086
	3教科	—	—	1	4,977	19,586	102,438	—	127,002
	2教科	—	—	—	—	195	1,161	14,520	—
	1教科	—	—	—	—	—	183	1,955	2,138
	合計	56,211	258,120	19,834	26,491	45,398	103,599	14,703	1,955 526,311

注：■内は、可能性のある組合せの件数、■内は、あり得ない組合せの件数。 平均受験教科数 4.59教科、平均受験科目数 5.76科目。

### ⑨ 教科組合せ別受験者数(多い方から5つ)

順位	受験教科数	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	受験者数
1	6教科	○	○	○	○	○	○	136,612人(25.9%)
2	5教科	○	○	—	○	○	○	130,505人(24.7%)
3	3教科	○	○	—	—	—	○	78,437人(14.9%)
4	5教科	○	—	○	○	○	○	65,963人(12.5%)
5	4教科	○	—	—	○	○	○	18,929人(3.5%)

注：“○”は受験した教科、“—”は、受験しなかった教科を示す。

## 大学入試センター試験参加大学数の推移

年度	国立大学	公立大学	私立大学	計
20	82大学	73大学	466大学 1,316学部	621大学
21	82大学	74大学	487大学 1,380学部	643大学
22	82大学	75大学	494大学 1,404学部	651大学
23	82大学	79大学	504大学 1,440学部	665大学
24	82大学	79大学	513大学 1,478学部	674大学
25	82大学	80大学	523大学 1,505学部	685大学

注1 夜間部・夜間主コースは1学部として集計している。

2 平成25年度については、平成24年3月31日現在の予定数。

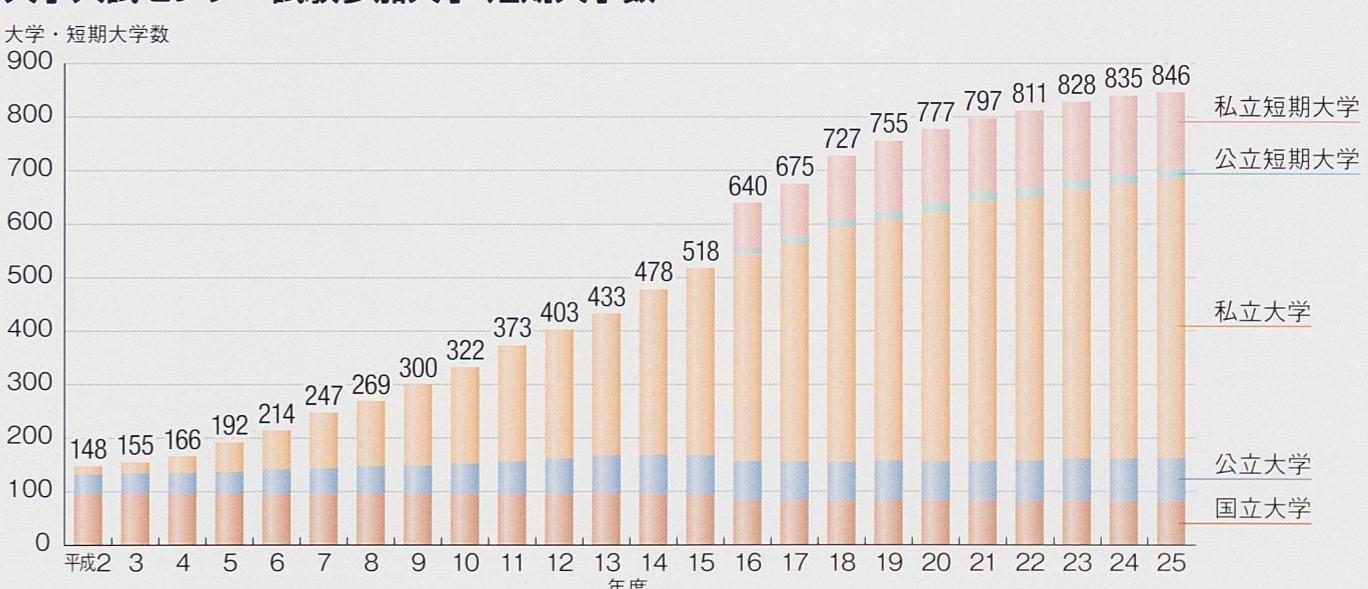
## 大学入試センター試験参加短期大学数の推移

年度	公立短期大学	私立短期大学	計
20	17短期大学 43学科	139短期大学 321学科	156短期大学
21	15短期大学 39学科	139短期大学 324学科	154短期大学
22	15短期大学 39学科	145短期大学 326学科	160短期大学
23	15短期大学 38学科	148短期大学 326学科	163短期大学
24	16短期大学 40学科	145短期大学 316学科	161短期大学
25	15短期大学 38学科	146短期大学 319学科	161短期大学

注1 夜間部・夜間主コースは1学科として集計している。

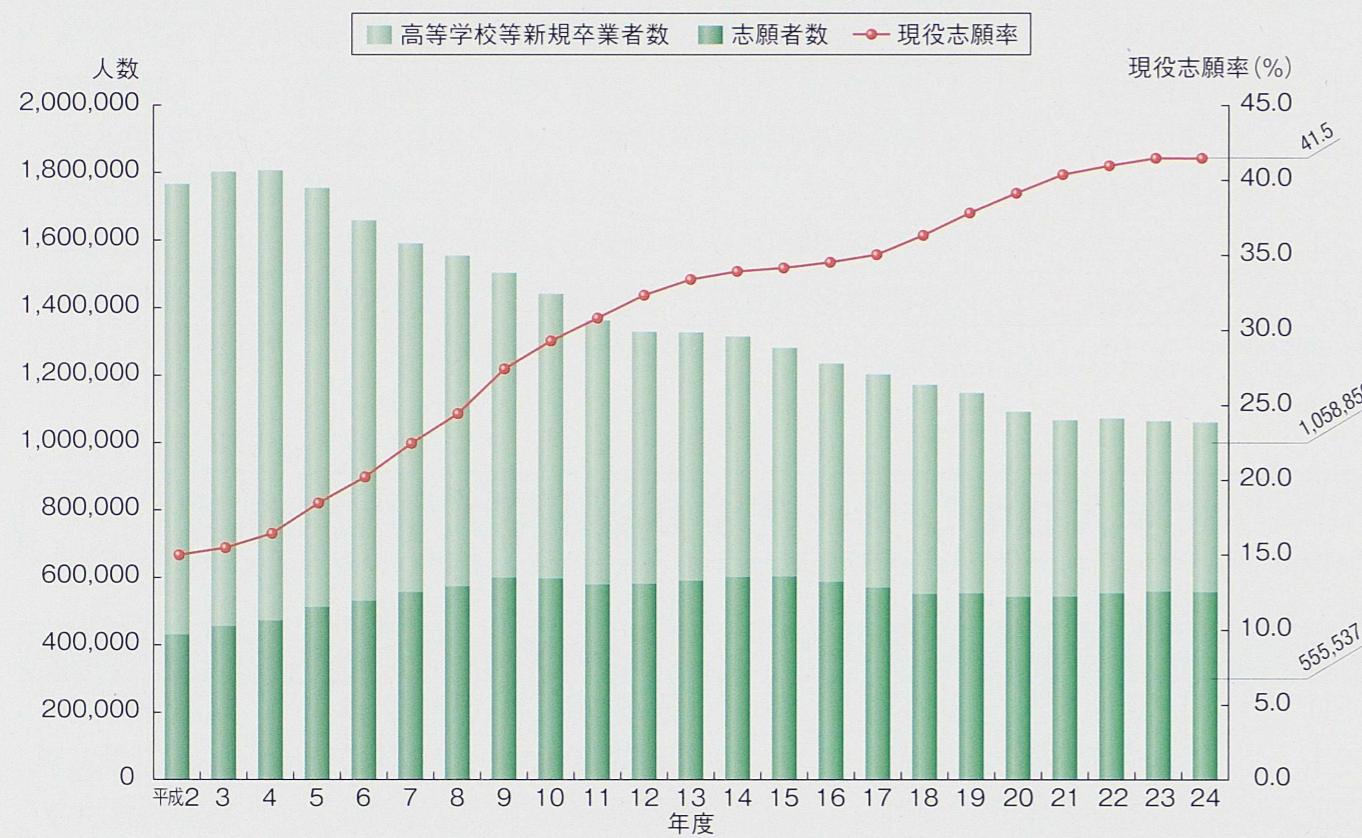
2 平成25年度については、平成24年3月31日現在の予定数。

## 大学入試センター試験参加大学・短期大学数

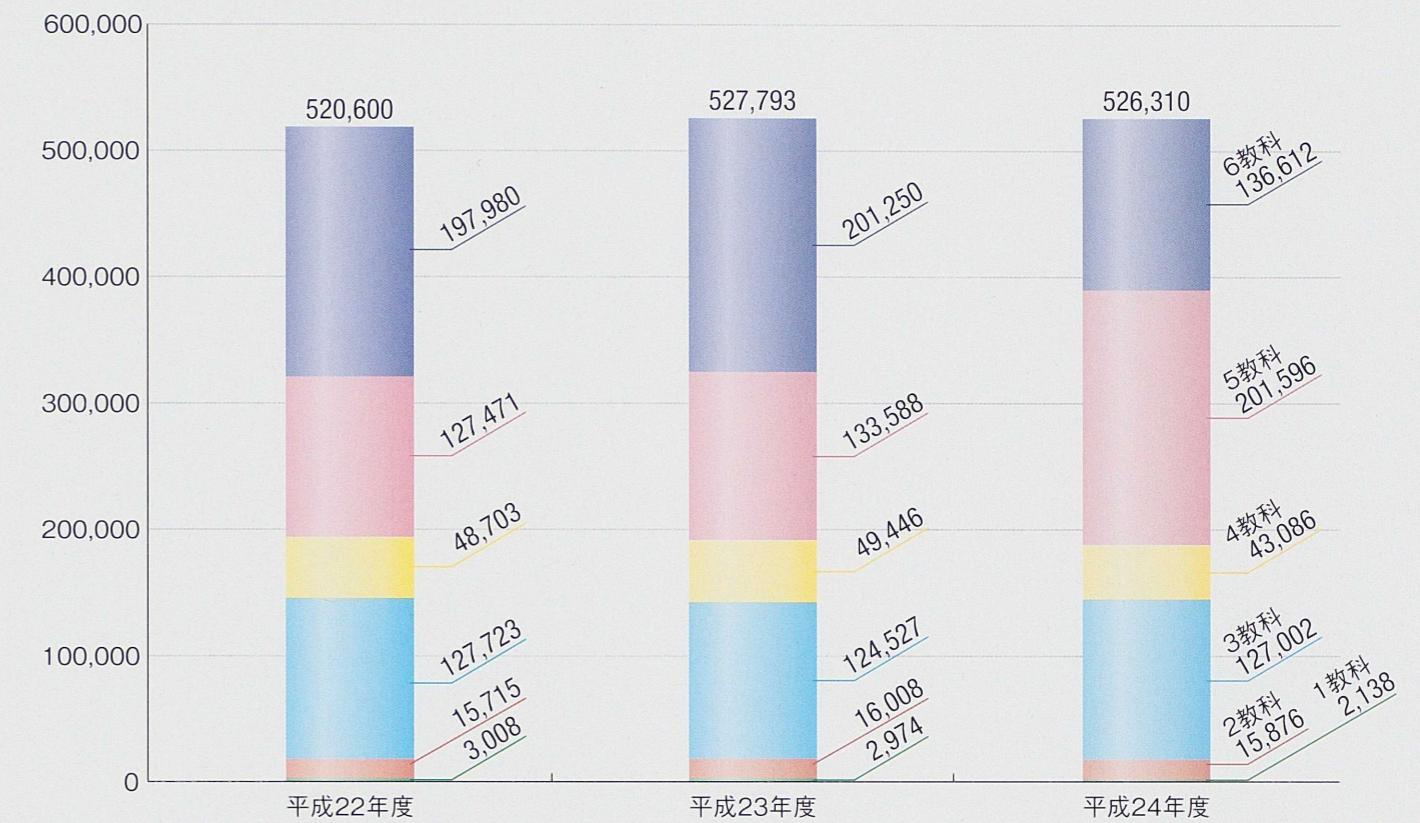


## 参考

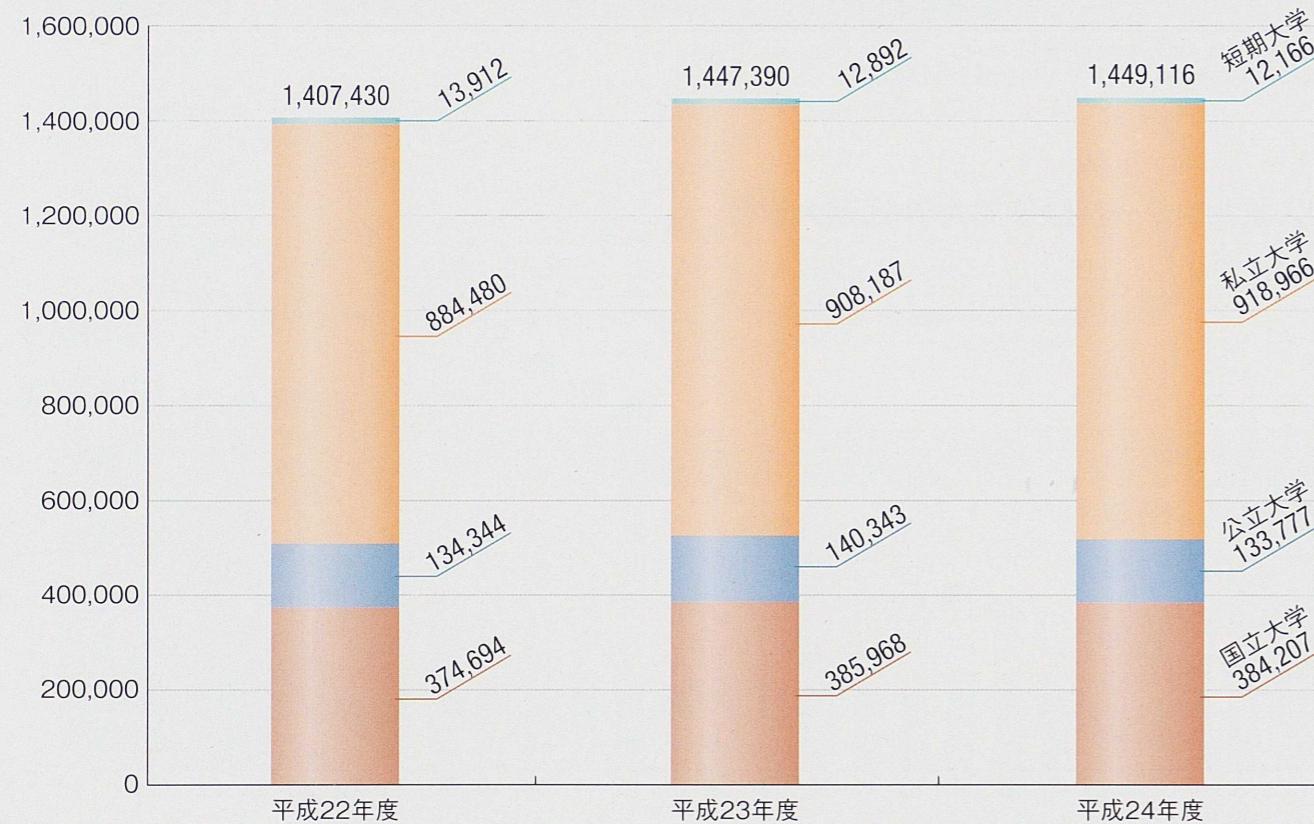
### ① 志願者数及び現役志願率の推移



### ③ 教科数別受験者数の推移



### ② 大学入試センター試験参加大学に対する成績提供件数の推移



### ④ 科目数別受験者数の推移





**独立行政法人 大学入試センター**

〒153-8501 東京都目黒区駒場2丁目19番23号

電話 03-3468-3311

ホームページ <http://www.dnc.ac.jp/>